# R8 国語科年間指導計画【現代の国語】

■単位数　2単位

■使用教科書　高等学校　現代の国語（第一学習社）

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕
(1) 言葉の特徴や使い方に関すること
ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。
イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。
ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。
エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。
カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。
(2) 情報の扱い方に関すること
ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。
イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。
ウ 推論の仕方を理解し使うこと。
エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。
オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。
(3) 我が国の言語文化に関すること
ア 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めること。
〔思考力、判断力、表現力等〕
A 話すこと・聞くこと
ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。
イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。
ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。
エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。
オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。
B 書くこと
ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。
イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。
ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。
エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。
C 読むこと
ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

■評価の観点とその趣旨

| | |
|---|---|
| (1) 知識・技能 | 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。 |
| (2) 思考・判断・表現 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 |
| (3) 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 |

■指導計画

| 月 | 単元名 | 知識及び技能 (1) ア | イ | ウ | エ | オ | カ | (2) ア | イ | ウ | エ | オ | (3) ア | 思考力、判断力、表現力等 話すこと・聞くこと ア | イ | ウ | エ | オ | 書くこと ア | イ | ウ | エ | 読むこと ア | イ | 言語活動 | 教材 | 評価の観点及び評価方法 | 配当予定時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 主題に至る論の展開の構造を把握し、説得力を持たせる論の展開について考える | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | 論の構造をもとに筆者の主張をまとめ、意見を述べよう | 「『本当の自分』幻想」 | (1)-定期テスト・小テスト<br>(2)-定期テスト・ワークシート<br>(3)-(1)と(2)への取り組み | 6 |
| | 伝わりやすい説明を書くための工夫について考える | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | 自分の考えをClassPadでまとめる | 書き方の基礎レッスン | (1)-ClassPad内容<br>(2)-ClassPad内容<br>(3)-(1)と(2)の取り組み | 6 |
| 5 | 対比を用いた論述方法を把握する | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | 対比を用いて東西の文化をまとめる | 「水の東西」 | (1)-定期テスト・小テスト<br>(2)-定期テスト・ワークシート<br>(3)-(1)と(2)への取り組み | 4 |
| 6 | 相手に伝わりやすい話し方について検討する | | ● | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | 自分のお勧め本を紹介する(ビブリオバトル) | 話し方の工夫 | (1)-ビブリオバトル内容<br>(2)-ビブリオバトル内容<br>(3)-(1)と(2)の取り組み | 5 |
| | | | ● | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | 待遇表現 | | 5 |
| 7 | | | | | | | | | | | | | ● | | | | ● | | | | | | | | | 論理的な表現 | | 4 |
| 9 | 具体例を用いた論の展開を理解し、読解する | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | 筆者の主張をわかりやすく要約する | 「現代の『世論操作』」 | (1)-定期テスト・小テスト<br>(2)-定期テスト・ワークシート<br>(3)-(1)と(2)への取り組み | 5 |
| 10 | 情報収集や妥当性の吟味を通して、情報の扱い方を理解する | | | | | | | | | | ● | | | | ● | | | | | | | | | | | 集めた情報の妥当性・信憑性を評価する | 適切な情報を集めるには | (1)-ClassPad内容<br>(2)-ClassPad内容<br>(3)-(1)と(2)の取り組み | 4 |
| 11 | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | ● | | | | | | 情報を引用して自分の意見を述べる | 情報を正しく引用するには | | 5 |
| 12 | 目的に沿った文章の書き方を工夫し、評価する | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | ● | | | | | | | 三南の実態を調査し、レポートを作成する | 自校の生徒の生活実態を調査する | (1)-調査の内容<br>(2)-調査の内容<br>(3)-(1)と(2)への取り組み | 6 |
| 1 | 主張に説得力をもたせる工夫を検討し、使用する | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | 中学生への紹介文を書こう | 説得力のある紹介文を書く・「夢十夜」 | (1)-ClassPad内容<br>(2)-ClassPad内容<br>(3)-(1)と(2)の取り組み | 4 |
| | 文と文の関係を意識して文章を読む | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | 筆者が用いている根拠や反論を評価する | 「デザインの本意」・「『動機の語彙論』という視点」 | (1)-定期テスト・小テスト<br>(2)-定期テスト・ワークシート<br>(3)-(1)と(2)への取り組み | 6 |
| 2 | 筆者の定義を理解して主張を的確に把握する | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | ● | | | | | 筆者が述べる「生活観」の「合理的」判断を行おう | 「ロビンソン的人間と自然」 | (1)-ClassPad内容<br>(2)-ClassPad内容<br>(3)-(1)と(2)の取り組み | 4 |
| | 合意形成を目指した話し合いの方法を理解し実践する | | | | | | | | | | ● | | | | | | ● | | | | | | | | | 函嶺祭の企画について話し合おう | 意見をまとめる話し合いをする | (1)-話し合いの内容<br>(2)-話し合いの内容<br>(3)-(1)と(2)への取り組み | 6 |

□「話すこと・聞くこと」に関する指導の予定単位時間数 …… 24 時間（20～30単位時間程度）

□「書くこと」に関する指導の予定単位時間数 …… 31 時間（30～40単位時間程度）

□「読むこと」に関する指導の予定単位時間数 …… 15 時間（10～20単位時間程度）

# R8 国語科年間指導計画【言語文化】

■単位数　2単位

■使用教科書　新編言語文化（東京書籍）

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・ 能力を次のとおり育成する。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕
(1) 言葉の特徴や使い方に関すること
ア　言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。
イ　常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。
ウ　我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
エ　文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。
オ　本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。
(2) 我が国の言語文化に関すること
ア　我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。
イ　古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。
ウ　古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。
エ　時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。
オ　言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。
カ　我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。
〔思考力、判断力、表現力等〕
A　書くこと
ア　自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。
イ　自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。
B　読むこと
ア　文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。
イ　作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。
ウ　文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。
エ　作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。
オ　作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。

■評価の観点とその趣旨

| | |
|---|---|
| (1) 知識・技能 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。 |
| (2) 思考・判断・表現 | 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 |
| (3) 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 |

■指導計画

| 月 | 単元名 | 知識及び技能 (1) ア | イ | ウ | エ | オ | (2) ア | イ | ウ | エ | オ | カ | 思考力、判断力、表現力等 書くこと ア | イ | 読むこと ア | イ | ウ | エ | オ | 古典 | 言語活動 | 教材 | 評価の観点及び評価方法 | 配当予定時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 古典文法の基礎知識を理解する | | | | | | | | ● | | | | | | ● | | | | | ● | 説話から読み取った主題をClassPadにまとめる | 「児のそら寝」 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 6 |
| 6 | 随筆に現れた筆者の考えを、叙述をもとに捉える | | | | | | | ● | | | | | | | | ● | | | | ● | 作者の考えをClassPadにまとめる | 亀山殿の御池に | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 5 |
| 7 | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | ● | ● | | 奥山に、猫またといふものありて | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 5 |
| 9 | 情景や心情の描写に基づいて主題を読み取る | ● | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | 元の古典作品と比較しよう | 羅生門 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 8 |
| 9 | 文章の種類を踏まえて表現の特色を読み取る | | | | | | | | | ● | | | | | | | | ● | | ● | 物語の主題をClassPadにまとめる | 伊勢物語　芥川 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 5 |
| 9 | | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | ● | | 古文学習のしるべ4 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 3 |
| 10 | 漢文訓読の基礎を身につける | | | | | | ● | | | | | | | | ● | | | | | ● | 声に出して漢文を読む | 訓読の基本 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 3 |
| 11 | 故事成語を詠み、漢文の世界に親しむ | | | | | | | | ● | | | | | | | | ● | | | ● | 主題をClassPadにまとめる | 借虎威 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 5 |
| 12 | 時代背景や価値観を踏まえて内容を捉える | | | | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | ● | 物語の主題をClassPadにまとめる | 平家物語　木曽の最期 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 5 |
| 1 | 表現に即して物語を読み味わう | | ● | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | 表現に基づいて読み比べる | 夢十夜 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 4 |
| 2 | 話の展開に即して内容を理解する | | | | | | | | ● | | | | | | | | ● | | | ● | 登場人物の考えをClassPadにまとめる | 曹公戦於白馬 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 5 |
| 2 | 漢詩と日本文学のかかわりを理解する | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | ● | 訳詩を書く | 絶句と律詩「涼州詞」「春望」 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 2 |
| 2 | 特徴的な表現技法とその効果について理解する | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | | 本歌取りに挑戦 | 短歌･俳句 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 2 |
| 2 | 筆者の考え方を読みとり、自分の考えを広げる | | | ● | | | | | | | | | | | | ● | | | | | 筆者の考えを読み取る | 心の自由 | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 8 |
| 2 | 会話や行動の描写から登場人物の心情変化を読み取る | | | | ● | | | | | | | | | | | ● | | | | | 登場人物の心情を読み取ろう | とんかつ | (1)－定期テスト・小テスト<br>(2)－定期テスト・ワークシート<br>(3)－(1)と(2)への取り組み | 4 |

□「書くこと」に関する指導の予定単位時間数 …… 8 時間（５～10単位時間程度）

□「読むこと」の古典に関する指導の予定単位時間数 …… 42 時間（40～45単位時間程度）

□「読むこと」の近代以降の文章に関する指導の予定単位 …… 20 時間（20単位時間程度）